

問 自治会の負担軽減と今後の展望は

答 課題を把握し、改善に取り組む

問 本村の現行自治会制度は、高齢化や形骸化などによって行き詰まりが見られる。高齢化、住民生活の多様化や価値観の変化によって、自治会役員への負担不足や会員の退会が多発している。自治会制度の長い歴史の中で自治会に対する予算措置、ゴミ出し当番、集積場の用地確保、神社の氏子制度の紐付けなどは正が必要である。村政やまちづくりの議論、大規模行事計画などは地区自治会に集約して単位自治会の役員の負担を軽減する。



新政とうかい
みかみ おさむ
三上 修 議員

また、単位自治会は見守り、防災、自警団活動などを担う程度に留め、高齢者や働き盛りの世代も自治会役員を務めることが出来るような改革が急務である。本村の対策と展望は。

答 班長の役割を果たすことができない高齢者世帯が自治会を退会する等、メリットが見えないという理由で入会いただけない世帯も存在し、自治会活動の問題が顕在化している。地域の方々との対話を重ね、自治会制度の在り方について正しい理解の浸透に取り組む。



スリムに進化した自治会は持続可能な社会の重要基盤

問 国道6号拡幅の協議体設置を望む

答 自治会と調整し課題解決に努める

問 村内の国道6号の2車線区間は、4車線化が事業化された。現在は、測量・設計、地権者への説明等に入っている状況である。地権者などの個人々との話し合いが中心であることから、村道の取り付け道路の改良などは、国道管理事務所で検討されていないと聞いている。国道の取り付け道路は、地権者以外の住民も含めて利用されるものである。自治会、地域住民等の皆さんと村執行部、さらに国道事務所との間で調整する必要がある。取り付



新政とうかい
てらかど さだのり
寺門 定範 議員

け道路改修等の調整を行う協議体の設置について考えを伺う。

答 4車線化に伴い中央分離帯が設置され、信号のある交差点以外では、これまでのように右折できなくなることから様々な意見を伺っている。また、石神外宿地区からは、これまで自治会などから取り付け道路などの整備についてご要望を頂いている。協議体の設置等については、自治会と調整させていただき、地域の課題解決に努めていきたい。



事業化が進む国道6号への取り付け道路